

## 調査・事例収集の中間報告③ 人の移動に関する実践事例調査

### (1) 調査の概要

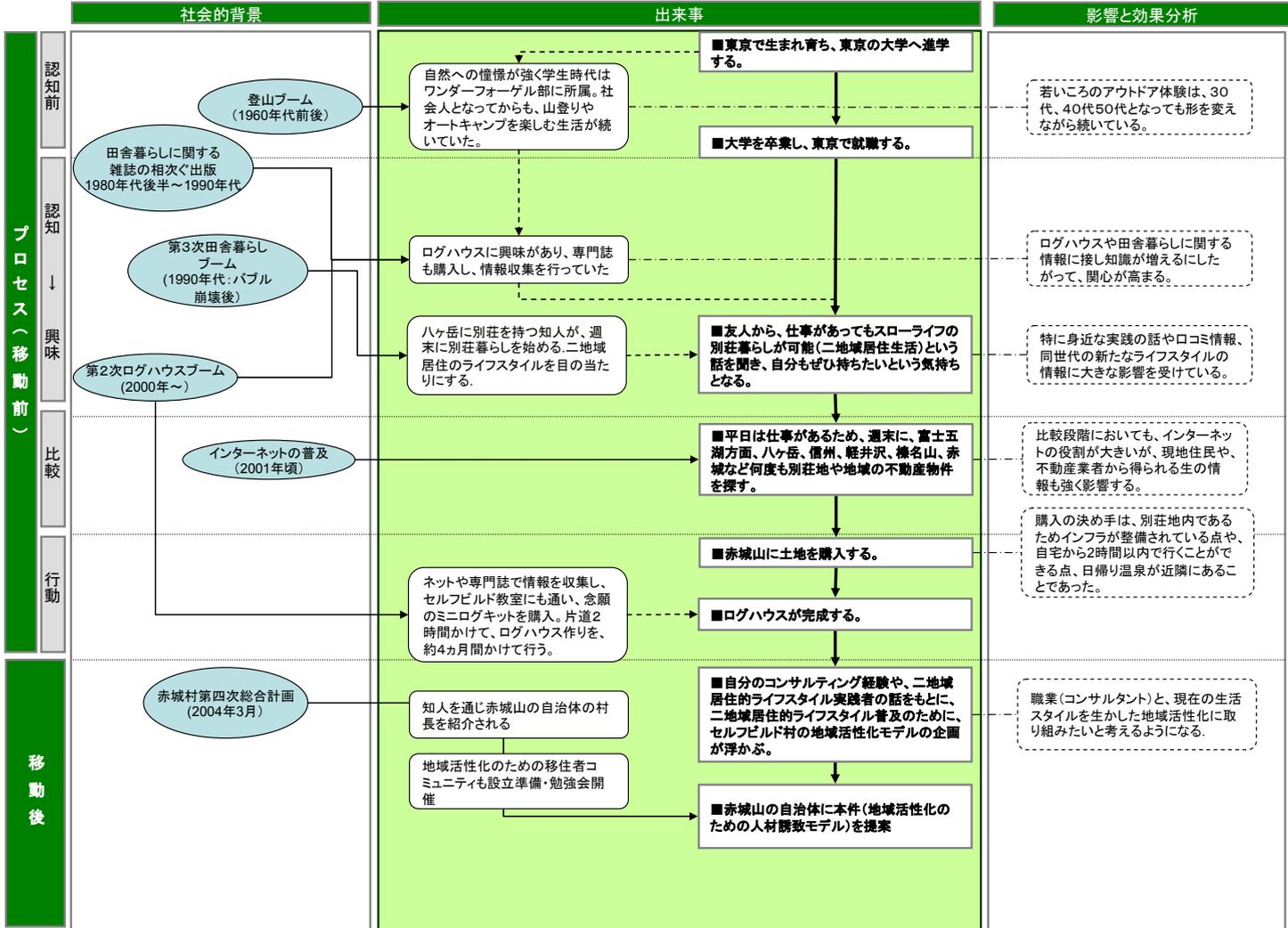
- ・ 地域への人の移動の実践事例の収集と、そのプロセスの分析を行い、今後、地域への移動を行う人への参考として取りまとめを行った。
- ・ 具体的には、最近の傾向として、地域に移動して、その地域の活性化に貢献する人や二地域居住などの新しい移動の形態が見られるため、各種文献調査及びヒアリング等により、地域活性化貢献型の地域への移動や、二地域居住の実践事例を中心に候補を抽出した。そして、各事例について、移動の実行までの経緯や、移動後の活動状況について詳細な調査を行い、そのプロセスを分析した。(うち、二地域居住者は終了)

# ログハウス建設し、片道2時間の二地域居住

## ■基本情報

性別：男性(56歳)  
 職業：会社員  
 現住所(出身地)：東京都練馬区(同左)  
 二地域居住先：群馬県赤城

**経緯**：アウトドアに興味があり、ログハウスや田舎暮らしの情報収集を行う。平日は、会社勤務のため、週末や休みを利用し、群馬県赤城山に購入した土地に4ヶ月かけて小規模なログハウスを自分で建てる。現在は、コンサルティングの知識を活かし、赤城山地域活性化を行うために脱都会派による赤城地域サポーターモデル(赤城地域学、セルフビルド村、地域振興のための二地域居住・交流人材誘致、国際交流など)を村長に提案を行っている。



## 二地域居住先で地域活性化の活動

### ■基本情報

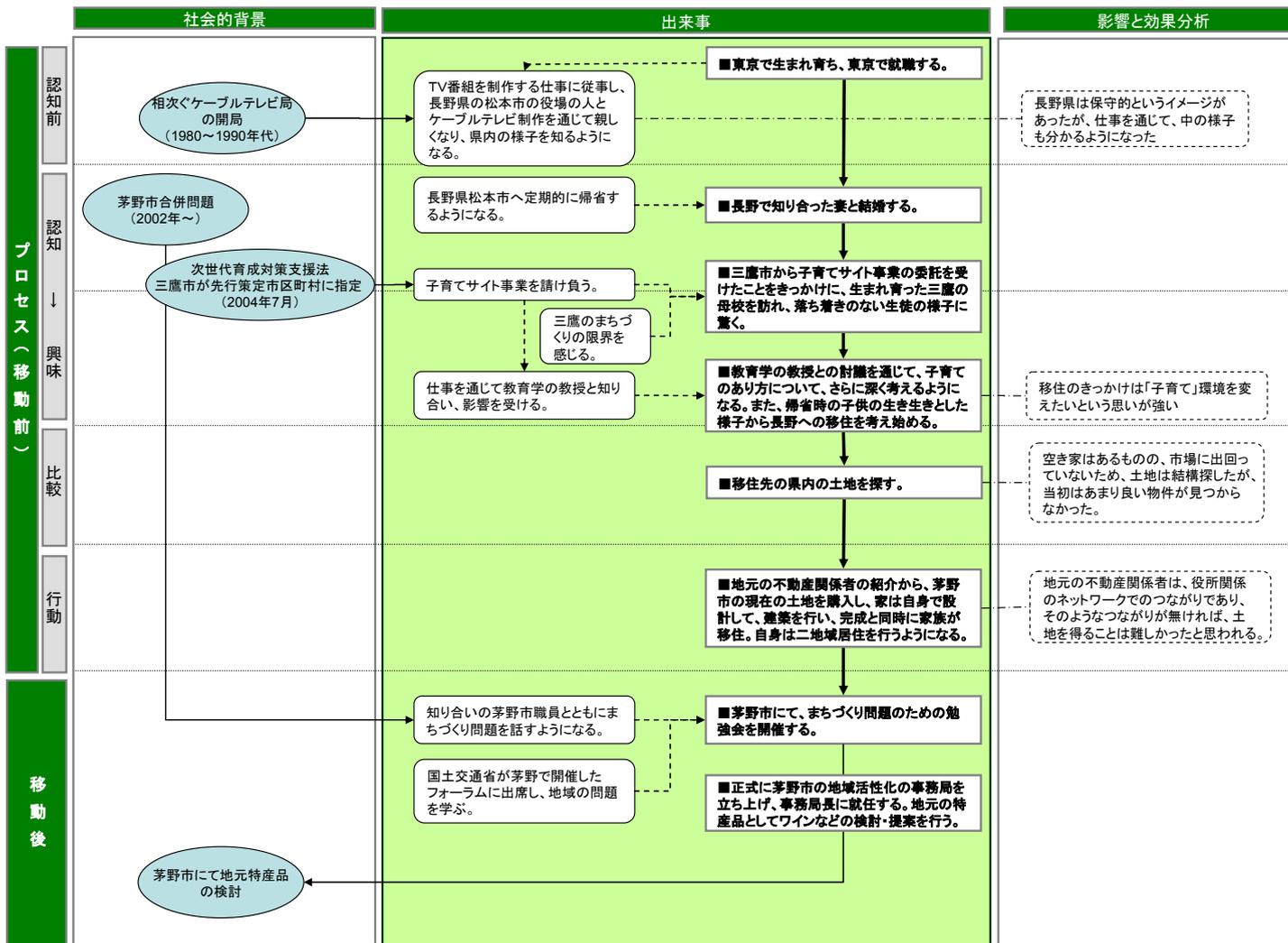
性別：男性（45歳）

職業：まちづくり株式会社

現住所（出身地）：東京都三鷹市（同左）

二地域居住先：長野県茅野市

**経緯**：三鷹市で生まれ、地元の中学・高校に通うなど、これまで地元で生活する。2年前に、長野県茅野市に自宅を設計、施工し、妻と子、自身の親も一緒に移住をする。自身は、株式会社まちづくり三鷹で平日は勤務を行っているため、単身赴任となり、2時間かけて週末に通う生活である。現在は、茅野市の地域活性化を行うための行政と民間の茅野まちづくり研究会を立ち上げ、シンポジウム、協働のまちづくり等の企画立案を行っている。



■基本情報

性別:女性(55歳)  
職業:不動産関連  
現住所(出身地):東京都(長野県)  
二地域居住先:群馬県中之条町

経緯:1998年に中之条町の北部にある岩本地区にて山の斜面を含む土地を取得する。最初は敷地内にコンテナハウスを建て、寝泊りをしていたが、2001年に定住のための住まいを建築し、夫のみが単独移住をする。妻は東京で不動産関係の仕事をしているため、平日は勤務し、毎週末夫婦の時間を過ごすために、東京-群馬の二地域居住生活を送っている。現在は、移住者同士の交流も生まれ、横のつながりができており、このようなライフスタイルを楽しんでいる。

